

全損保険解約シミュレーション

解約返戻金		円	資産計上割合		%
資産の部			負債・純資産の部		
科目	解約前	解約後	科目	解約前	解約後
Ⓐ現金・預金合計			Ⓑ仕入債務合計		
Ⓑ売上債権合計			Ⓓ他流動負債合計		
Ⓒ有価証券合計			Ⓔ流動負債合計ⒶⒷ		
Ⓓ当座資産合計Ⓐ～Ⓒ			Ⓕ固定負債合計		
Ⓔ棚卸資産合計			Ⓖ負債合計ⒻⒼ		
Ⓕ他流動資産合計			Ⓗ資本金合計		
Ⓖ流動資産合計Ⓓ～Ⓕ			Ⓘ資本剰余金合計		
Ⓗ有形固定資産計			⒑利益剰余金合計		
Ⓘ無形固定資産計			⒒自己株式		
⒑投資その他資産合計			⒓純資産合計⒑～⒒		
⒔固定資産合計Ⓗ～⒑					
⒕繰延資産合計					
⒖資産合計⒗⒔⒕			⒗負債・純資産合計⒘⒓		

全損保険解約前後の貸借対照表比較					
解約前			解約後		
資産	負債 & 資本	資産	負債 & 資本		

全損保険を解約すると財務諸表はどう変化するのか？

①自己資本比率の改善 解約返戻金を資産に計上することで自己資本比率が向上し、企業の信用力や金融機関の評価が高まる可能性があります。
②流動比率の向上 解約返戻金が流動資産に加わり、短期的な資金繰り能力を示す流動比率が改善します。
③純資産の増加 解約返戻金が益金として計上されることで純資産が増加し、財務健全性が向上します。
④固定長期適合率・固定比率の改善 解約返戻金により固定資産を長期資金でカバーする比率が向上し、金融機関の評価が良くなります。

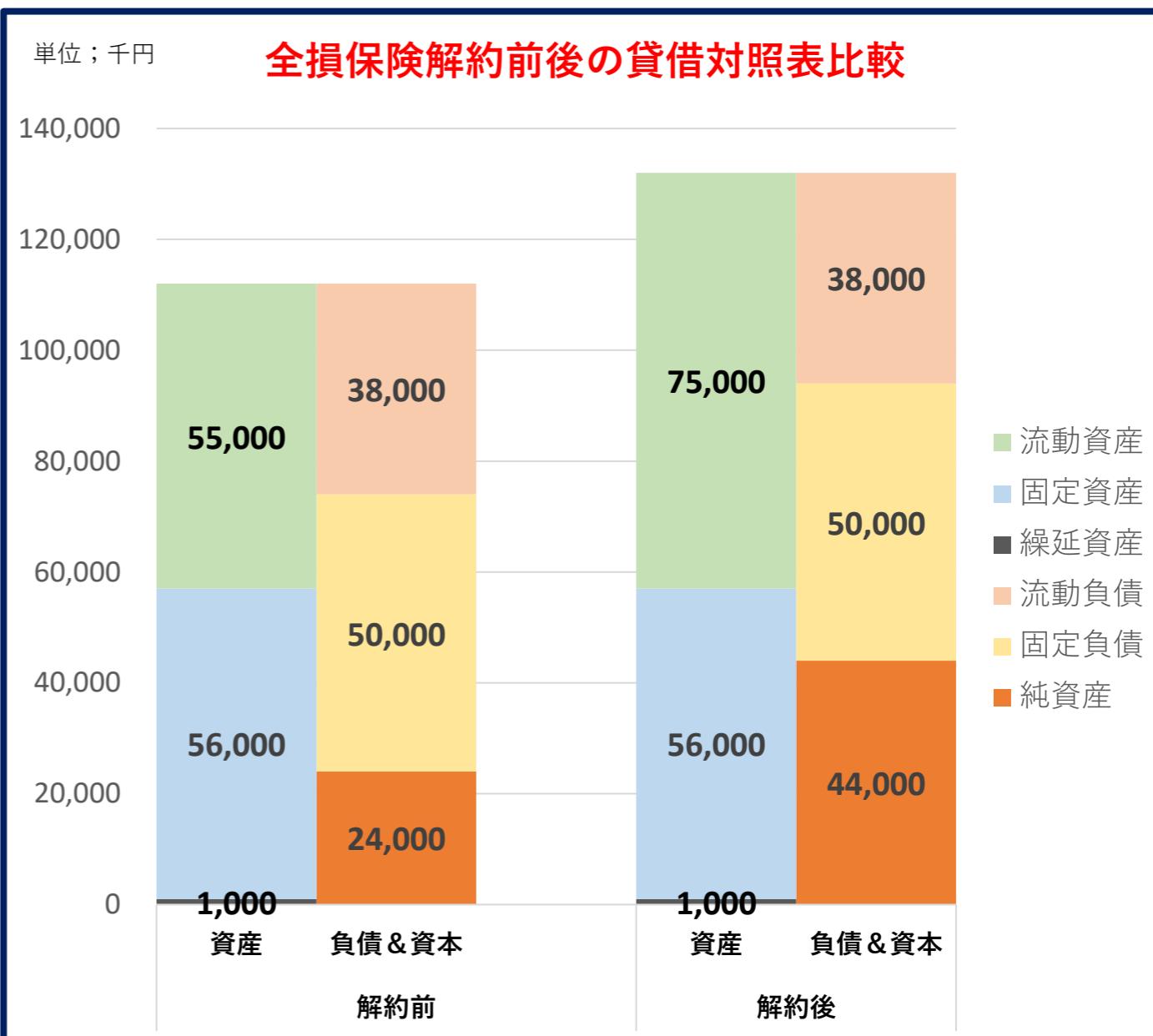
主要診断結果

分析指標	解約前	解約後	解約前後の差
自己資本比率			
流動比率			
固定長期適合率			
固定比率			

全損保険解約シミュレーション

解約返戻金	20,000,000	円	資産計上割合	0	%
資産の部		負債・純資産の部			単位:円
科目	解約前	解約後	科目	解約前	解約後
Ⓐ現金・預金合計	20,000,000	40,000,000	Ⓑ仕入債務合計	30,000,000	30,000,000
Ⓑ売上債権合計	20,000,000	20,000,000	Ⓓ他流動負債合計	8,000,000	8,000,000
Ⓒ有価証券合計	0	0	Ⓐ流動負債合計ⒷⒹ	38,000,000	38,000,000
Ⓓ当座資産合計Ⓐ～Ⓒ	40,000,000	60,000,000	Ⓔ固定負債合計	50,000,000	50,000,000
Ⓔ棚卸資産合計	10,000,000	10,000,000	Ⓕ負債合計ⒺⒻ	88,000,000	88,000,000
Ⓕ他流動資産合計	5,000,000	5,000,000	Ⓖ資本金合計	5,000,000	5,000,000
Ⓖ流動資産合計Ⓓ～Ⓕ	55,000,000	75,000,000	Ⓗ資本剩余金合計	0	0
Ⓗ有形固定資産計	35,000,000	35,000,000	Ⓘ利益剩余金合計	19,000,000	39,000,000
Ⓘ無形固定資産計	11,000,000	11,000,000	⓪自己株式	0	0
⓪投資その他資産合計	10,000,000	10,000,000	⓪純資産合計⓪～⓪	24,000,000	44,000,000
⓪固定資産合計Ⓗ～⓪	56,000,000	56,000,000			
⓪繰延資産合計	1,000,000	1,000,000			
⓪資産合計⓪⓪⓪	112,000,000	132,000,000	⓪負債・純資産合計⓪⓪	112,000,000	132,000,000

全損保険解約前後の貸借対照表比較



全損保険を解約すると財務諸表はどう変化するのか？

- 自己資本比率の改善
解約返戻金を資産に計上することで自己資本比率が向上し、企業の信用力や金融機関の評価が高まる可能性があります。
- 流動比率の向上
解約返戻金が流動資産に加わり、短期的な資金繰り能力を示す流動比率が改善します。
- 純資産の増加
解約返戻金が益金として計上されることで純資産が増加し、財務健全性が向上します。
- 固定長期適合率・固定比率の改善
解約返戻金により固定資産を長期資金でカバーする比率が向上し、金融機関の評価が良くなります。

主要診断結果

分析指標	解約前	解約後	解約前後の差
自己資本比率	21.4%	33.3%	11.9%
流動比率	144.7%	197.4%	52.6%
固定長期適合率	75.7%	59.6%	-16.1%
固定比率	233.3%	127.3%	-106.1%